

2025年度 卒業生アンケート 回答結果

2026年5月12日 教務委員会

アンケート実施概要

【対象者】 2025年度 卒業・修了者（3月卒業） 560名

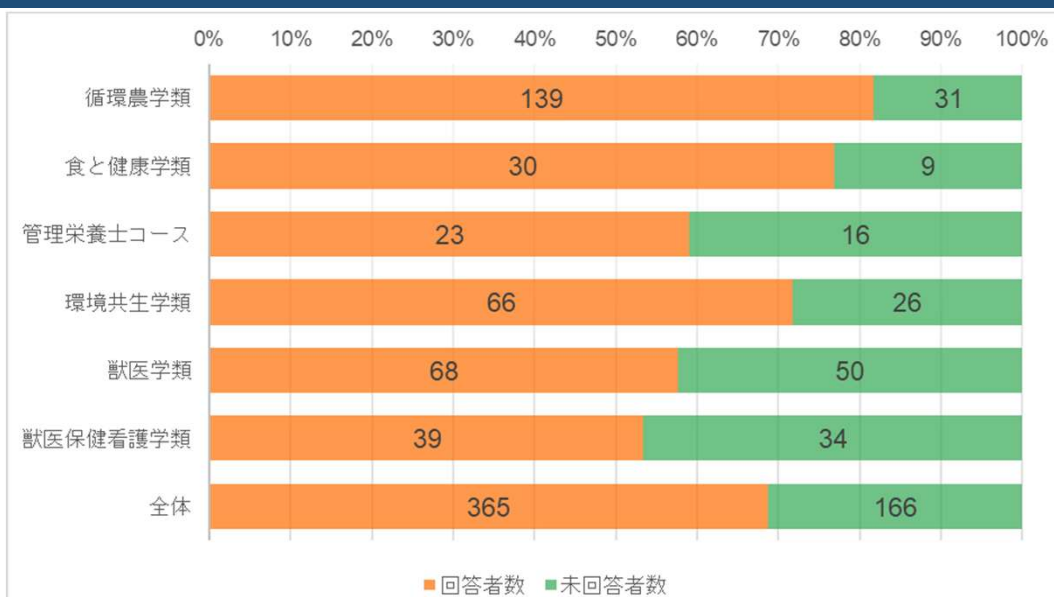
【受付期間】 2025年10月6日 ～ 2026年3月31日

【回答者数】 383名（回答率 68.4%）

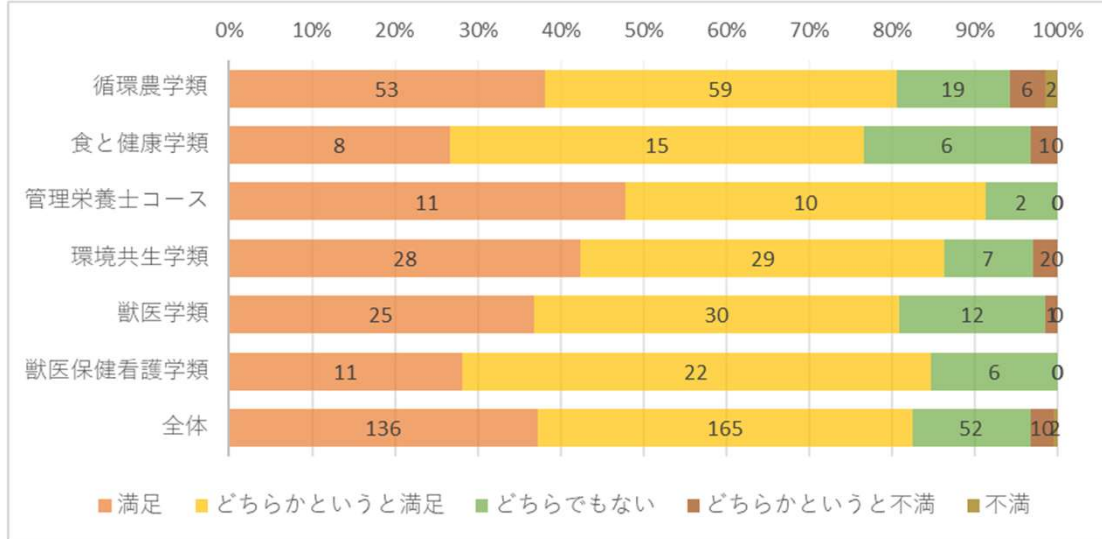
【用途】 カリキュラムや授業方法、学生支援体制の改善等に使用

1. 大学

学類別回答状況



大学の満足度



大学満足度（理由）

専門的な分野を学べたうえ、酪農学園大学にいたからこそそのコミュニティを作ることができたから（循環農）

他の大学では体験できない栽培体験や動物に触れ合える体験が、今では良い思い出となっているから（食と健康）

勉学、部活動など学生生活全体を通して有意義な4年間であったから（循環農）

学生はじめ教職員の方が優しく、様々な相談に乗っていただき留年もせず卒業する事ができ、本当に感謝している（環境共生）

獣医学の教育を行ううえで、動物が多いといった他の大学にはないリソースが豊富であるため（獣医）

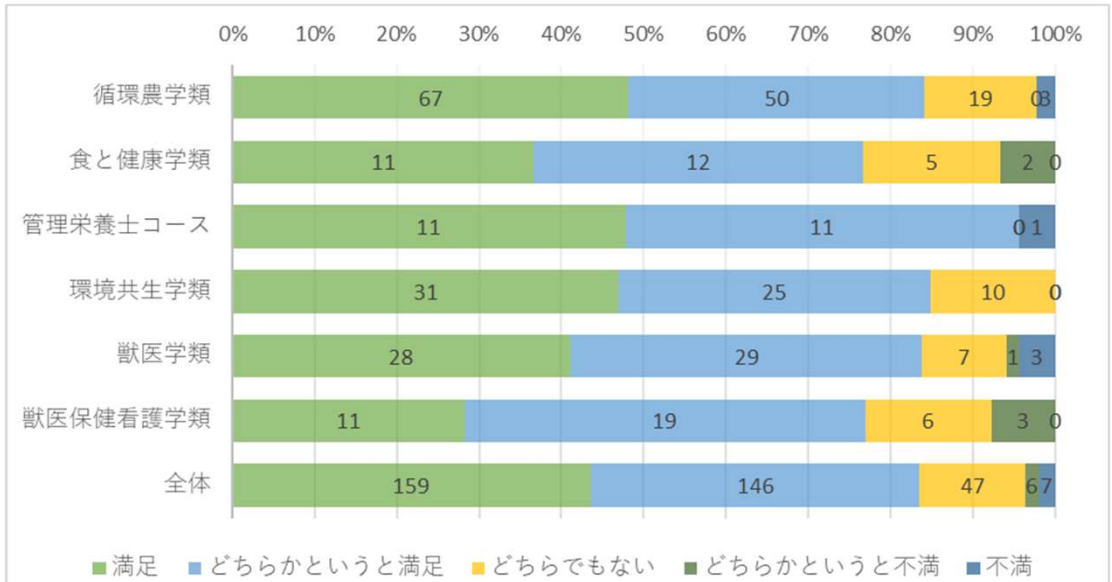
特定の講義を受ける時の教室が履修者数に対して狭く、座るスペースの確保が難しい（循環農）

酪農学園大学全体の空気がのびのびしていて、穏やかな学生が多く、教員との距離も近いので学びやすく、良き仲間や恩師ができた（獣医）

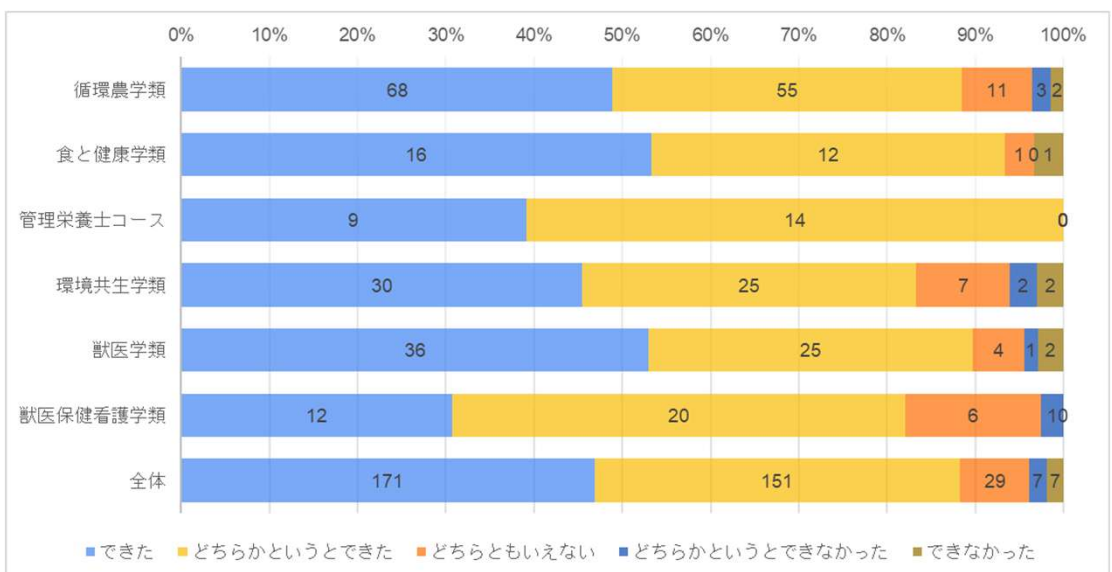
他の大学では経験できないことが多く、楽しかった（環境共生）

自然や動物に囲まれてのびのび生活できたから（看護）

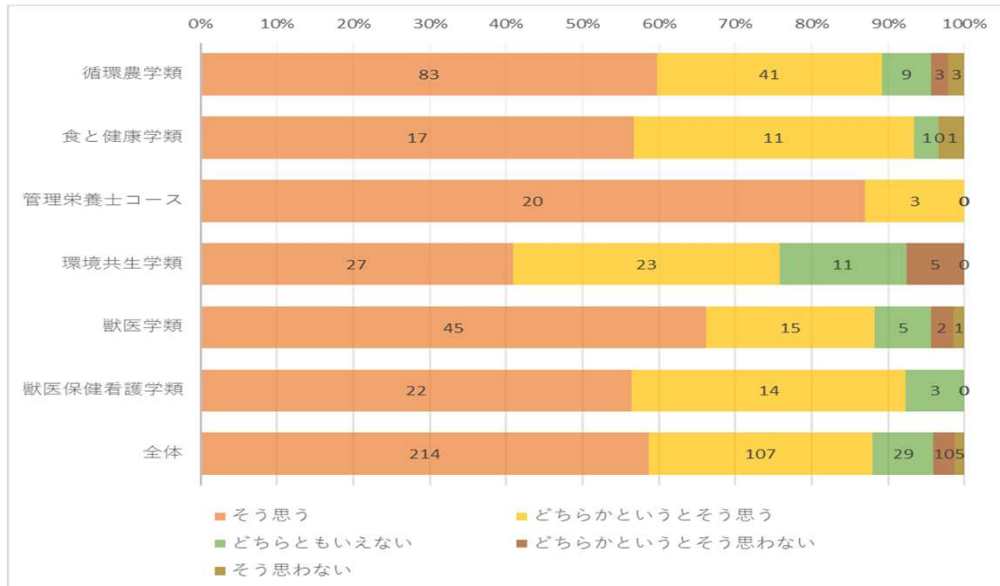
学類の満足度



専門教育で期待していた学びができたか



専門教育で得た学びは卒業後も活かせると思うか



循環農学類・自由記述

コースを分けるのはすごく良いと思った

授業内で、グループワークやディスカッションがあり、自分の意見、相手の意見を共有する練習ができた

先生方から、専門的な知識をたくさん教えて貰えた

専門知識が身についたと思う

実習が充実していたが、もっと頻度が多くても良かったと感じた

1年生の時点で専門科目の座学がもう少しあったら嬉しかった

座学の時間も大切だが、実際に酪農学園以外の牧場に行っ、どのような酪農が行われているか、もっと現場に行っ、て学ぶ時間が欲しかった

食と健康学類・自由記述

ゼミ室に配属されることによって、自分のやりたい実験ができて嬉しかった

食品について知識を深められたと思う

乳製品について広い知見を得ることができた

座学以外にも、6次産業化の授業で行った市場見学のような体験的な経験があると、より実践的に学べると思った

グループワークをする機会が度々ありましたが、毎回ほとんど同じメンバーだったので、もう少し変えて欲しかった

もっと食品について学べると思っていた

食と健康学類（管理栄養士）・自由記述

国家試験対策が充実していた

管理栄養士に必要な知識を学ぶことができた

カリキュラム上仕方ないのかもしれないが、学外実習を4年次に3つ行うのではなく、3年次にも分散して行えると、国家試験勉強との両立がしやすいと感じた

環境共生学類・自由記述

実習が多く、実践的に学べたことが良かった

専門的な進路に進まない場合でも、有意義となる内容を講義で行っていただいた点が非常に良かった

実習が充実している点が特に良かった

専門分野について、身近なフィールドで実習ができた。レポートの作成も含めて、理論をまとめることができ、今後に役立てることができると思う

欲を言えば、必修だけでも実習費が掛かる授業はもう少し早めに教えて欲しいと思う

専門性が高く大学独自の分野を学べたのでこの形を継続して欲しい。また、他学群の授業を受講できる点も良かった

情報系の授業が少なかった

1、2年次にもっとそれぞれの研究室の特色を知りたかった

実習をもっとやりたい、と思った

獣医学類・自由記述

本質的な理解をするために論理的な思考能力が必要になるので、訓練になった

「自身が実際に現場に出たら」を常に考えながら動ける環境を作っていただいた

どの講義でも電子資料を配布しており、勉強しやすかった

座学で学んだことを、実習で動物に触れながら学び直すことができるとても勉強になった

単位の取得は簡単ではなかったが、学ぶことは多かった

夏の早い時期から国試の勉強を始められるよう卒論を前期のうちに終わらせるなど抜本的に体制を変えていったほうが良いのではないかと思った

もっと幅広い国家試験対策をしてほしい

獣医保健看護学類・自由記述

多くの動物に触れ合え、全国各地出身の友達ができ

穏やかな人が多く、交友関係も充実させることができた

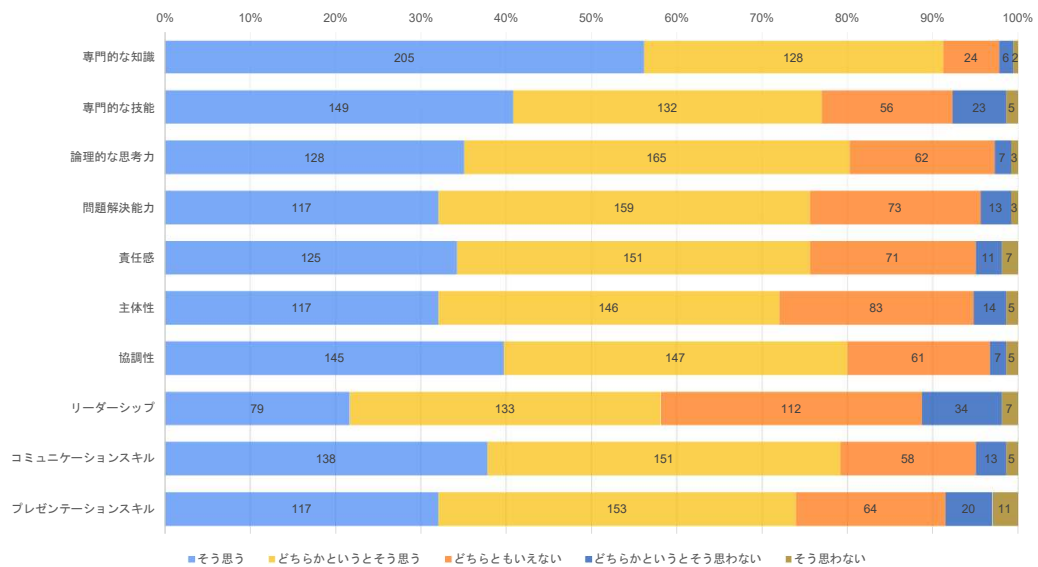
教員へ質問がしやすくて良かった

豊かな自然のなか、学ぶことができた

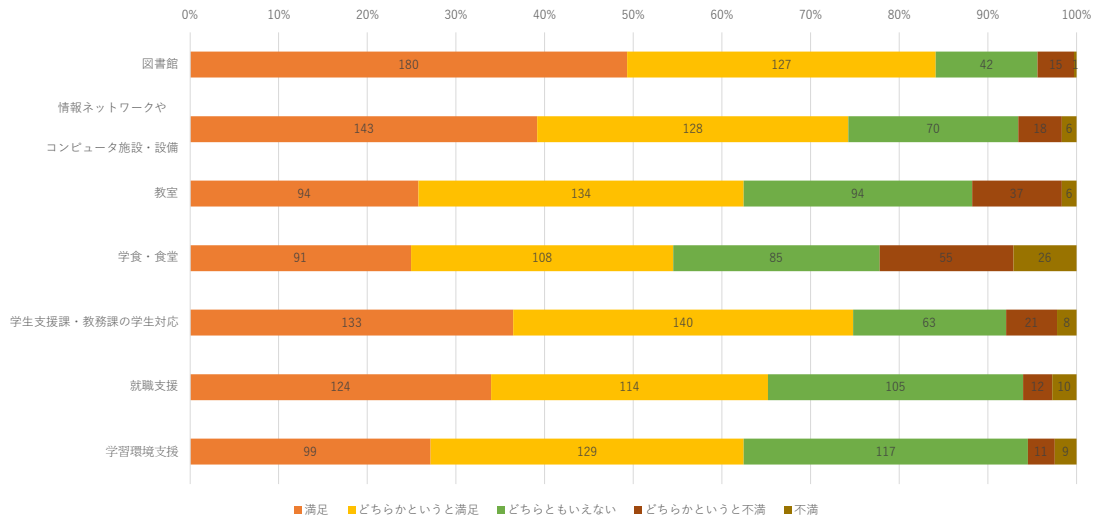
何度も挑戦して復習できる機会がほしかった

もっと実習があってもよかった

本学での卒業までの学びを通じて身に着けた力



大学の施設・サービスの満足度



印象に残っている科目

健土健民入門実習

- ・全く農業を学ばず入学した身として、栽培方法や牛の管理作業などを実際に体験しながら学べる機会は非常に貴重な時間であった（循環農）
- ・この大学ならではの！というところが良い（食と健康）
- ・他大学では体験することができない、牛や豚、羊などと触れ合うことができた（管理栄養士）

受精卵移植論

- ・牛の繁殖について、とても勉強になる内容で面白かった（循環農）

食品加工学実習

- ・チョコレートやさけるチーズなど、普段作ることができないものを作れた（食と健康）

獣医寄生虫病学

- ・自分の興味の方向性を広げてくれた。授業、実習内容がすごく面白かった（獣医）

野生動物保全技術実習

- ・学内だけでなく学外での実習で、全てが新鮮に思えた（環境共生）
- ・実践的に学ぶことができて良かった（環境共生）
- ・実際に狩猟する所や解体作業を見ることができた（環境共生）

大学の魅力

複数の地域から人が来るため自分の知らない農業、畜産、酪農について知ることができる
(循環農)

一部の人にしか効果がない知識や技術を与えるのではなく、すべての人に役立つこれからの世の中を生きるうえで大切なことを教えてくれる (循環農)

大学全体が研究対象となりうるフィールドに囲まれており、観察が学びに直結している (環境共生)

実際に体験しながら学ぶことができる自然の中で過ごすことができる (循環農)

周辺の私立大学にはない敷地面積と緑の多さで、心穏やかな学生生活を送れる (食と健康)

四季折々の景色、匂い、音、すべてに風情があり毎日の一コマ一コマが美しく素晴らしい日々を過ごすことができる (獣医)

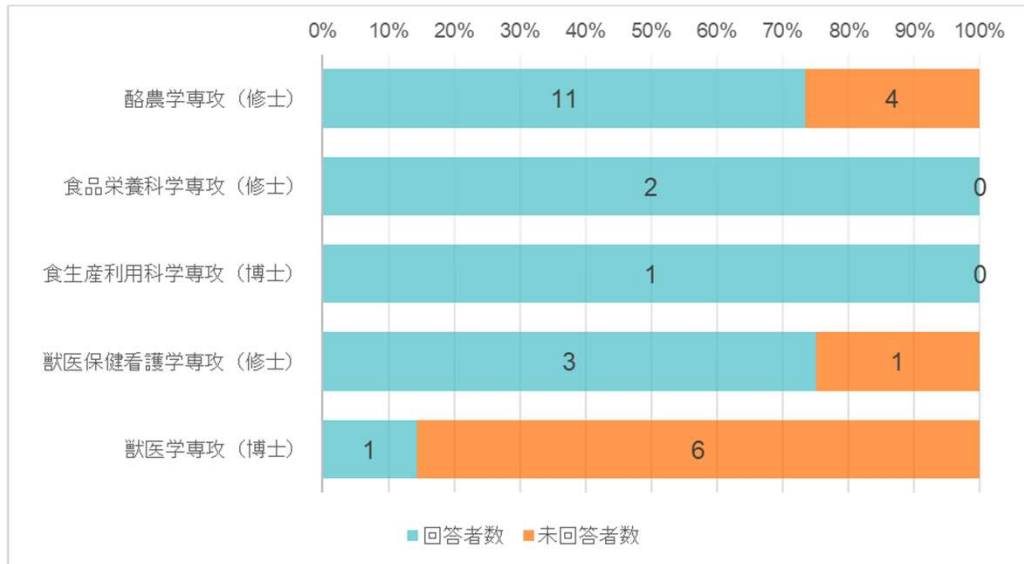
酪農を学べる環境があり、親身になって、話を聞いてくれる職員が多い (循環農)

実習が充実して、主体性次第で様々なことに取り組める (看護)

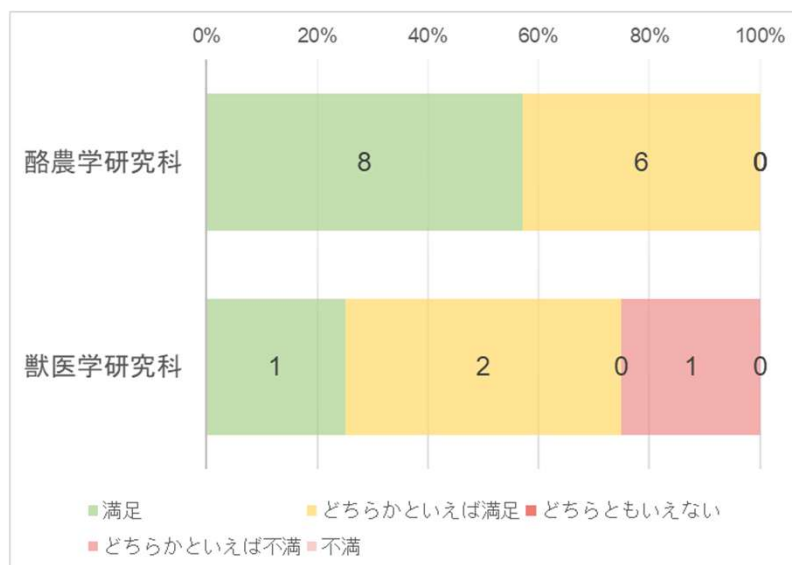
いくら失敗しても先生たちが優しく指導して下さるので、何度でも挑戦できる (食と健康)

2. 大学院

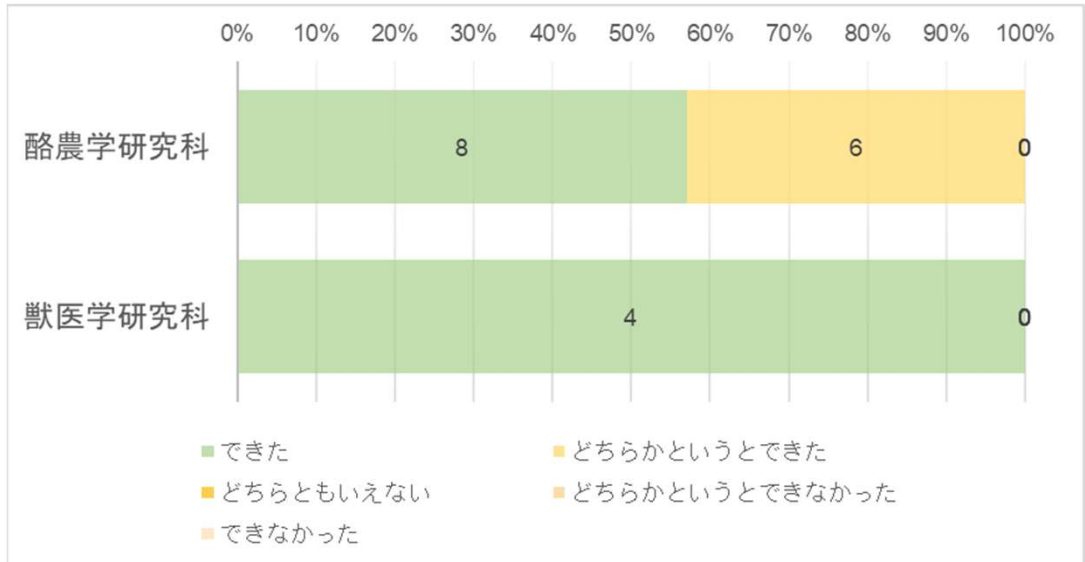
研究科別回答状況



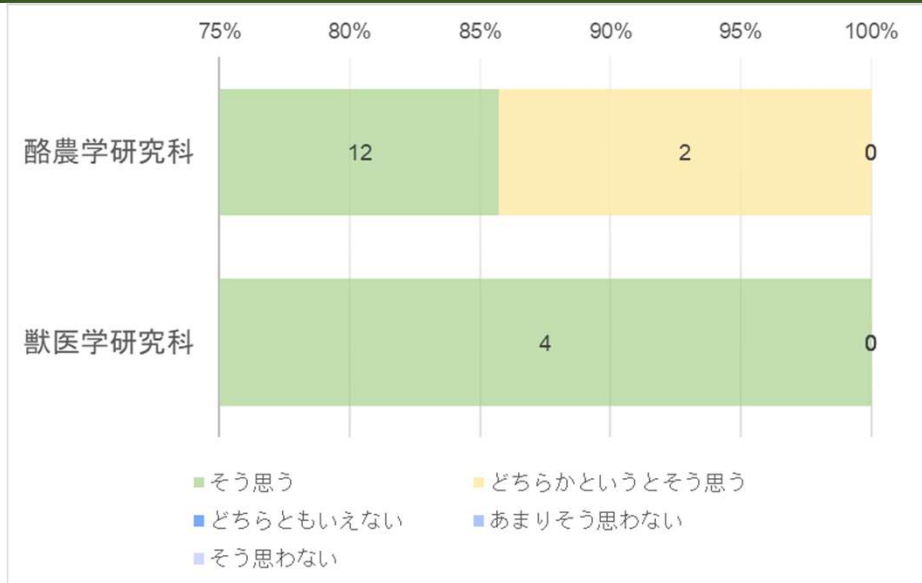
大学院の満足度



大学院で期待していた学びができたか



大学院で得た学びは今後の進路においても生かせると思うか



大学院での学びで印象に残っている点

大学院での学びで改善を望む点

すべての講義が専門的で楽しく印象に残っています。学類の時には履修しなかった専門外の講義が面白かったです。自らの専攻ではない分野を選択できた(選択する余裕があった)点は良かったです

大学には附属農場があり、実践的な現場を学ぶことができた。また、知識だけではなく、技術も学ぶことができ、大変満足している

北海道和種馬の生産牧場におじゃまして、写真を撮らせていただいたり、血液サンプルをいただいたこと

大学院生の交流の場がもっとあると嬉しい

たくさんの時間を費やした研究を、学会発表や論文として一つの形に作り上げた時の達成感